

令和7年度 商業振興補助事業審査委員会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和7年5月27日(火)14時00分～16時15分
- 2 場 所 横須賀市役所2号館6階261会議室
- 3 出席委員 大場 保男 (中小企業診断士)
渡利 恭明 (中小企業診断士)
安食 静二 (INPIT 神奈川県知財総合支援窓口)
鈴木 博明 (神奈川県 産業労働局 商業流通課 商店街支援指導員)
佐藤 廣 (横須賀商工会議所 情報企画課長)
島崎 恭光 (横須賀市 文化スポーツ観光部 商業振興課長)
- 4 事務局 文化スポーツ観光部 商業振興課 三本木主査、櫻井、熊野

5 傍聴者 1名

6 議事内容

(1) 審査スケジュールについて ※資料2 参照

(事務局)

本日は、にぎわいづくりイベント事業6団体の審査を予定している。

(2) 審査方法について ※資料3 参照

(事務局)

【にぎわいづくりイベント事業】

にぎわいづくりイベント事業は採点を行わず、
より良い事業を実施するための意見や助言等をいただきたい。

(3) にぎわいづくりイベント事業 ※資料4 参照

・北久里浜商店街振興組合 質疑応答

(委員)

地域との関係づくりは重要。

ハロウィンイベントの際に地域懇談会をされたと記載があるが、
どういったことかお話を伺いたい。

(北久里浜商店街振興組合)

湘南学院に協力いただき、意見交換会を行った。

新年会にもお招きして親睦を深めている。

(委員)

要望が出たりするのか。

(北久里浜商店街振興組合)

要望は出る。要望を集めるために意見箱を置いたりしている。

(委員)

フォトコンテストはどうだったか。

(北久里浜商店街振興組合)

応募が約 200 も出ており、審査するのが大変だった。

大きな話題づくりになった。

(委員)

イルミネーションのグレードアップについてどう考えているか。

(北久里浜商店街振興組合)

お金をかけたらきりが無い。

過去は協賛金を集めて実施していたが、

現在は収入が安定しているので追加集金なしで実施できている。

駅前には北久里浜の顔なので、細かい部分のグレードアップをしたい。

(委員)

駅前のロータリーを華やかにするのもいいが、

もう少し街中もボリュームアップしてほしい。

街中各所に動物のイルミネーションを飾り付けて、

その動物を探す企画は子どもが喜ぶので検討ください。

・野比駅前商店会 質疑応答

(委員)

イベント広報手段として、新聞折込の効果はどうか。

(野比駅前商店会)

数年前ポスティングしたが、高齢者層が多いので新聞折込の方が良かった。

(委員)

自治会の回覧板とのタイアップはできないか。

(野比駅前商店会)

回覧板は無関心な人が多い印象がある。

自治会にお願いすると営利事業になってしまう心配もある。

(委員)

SNS の利用はできないか。地域の若い人に頼めないか。

(野比駅前商店会)

やってくれる人がいないので難しい。

(委員)

役員のお子様等に協力を依頼するのはどうか？

(野比駅前商店会)

思い入れがある人がいないと続かない。

Tシャツ制作の時もやる気のある方が入会したのがきっかけだった。

(委員)

Tシャツの評判はどうか。商店会員外の方にお披露目はしているのか。

(野比駅前商店会)

各商店に任せているのが実情。販売を検討する段階までいけない。

(委員)

頑張ります宣言について、各店で「XXXXを頑張ります」を記載したらどうか。

また、店主のプロフィールや人となり頑張ります宣言の前に入れると、

お客様と盛り上がるきっかけになる。

やさしいおもてなしの具現化はできているか。

(野比駅前商店会)

イメージのみで具現化はできていない。

(委員)

実施事業が3つあるので、1つを「すいちゃん祭り」のようにできないか。

Tシャツの作成だけで終わらず、名前をPRした方が良い。

また、すいちゃんの性格や特徴を設定する、花言葉を活用する等、

すいちゃんPRのために出来ることはたくさんあると思う。

・一般社団法人リドレ商店会 質疑応答

(委員)

マルシェの様子はどうか。

(一般社団法人リドレ商店会)

地元の農家とお付き合いがあったので、室内で無理のない範囲で始めた。

食材の販売だけでなく、フードコーディネーターがお弁当を提供することで、
食材を活かした調理方法等も伝わり好評だった。

(委員)

山形県の食材等を提供されているが、

デジタルサイネージを活用して山形の風景等も含めてPRすることはできないか。

(一般社団法人リドレ商店会)

パンフレットを作成して館内でPRしているが、

デジタルサイネージで山形のPR等は現状実施していない。

(委員)

リドレ10周年に向けて何か考えていることはあるか。

(一般社団法人リドレ商店会)

色んな方にお世話になってイベントを実施してきたので、
絆をテーマに形にしていきたい。

(委員)

フォトコンテストを実施した結果はどうだったか。

(一般社団法人リドレ商店会)

多くの票が集まって、リドレの廊下に受賞者の作品を展示している。
継続することで更に大きな企画にしたい。

(委員)

マルシェでは野菜以外に魚も提供しているのか。

(一般社団法人リドレ商店会)

漁師もいて提供できなくはないが、鮮魚を陳列するのは難しく、野菜と加工品中心になっている。

(委員)

マグロ等の引きの強い商材を販売して変化を加えるとより良い。

(一般社団法人リドレ商店会)

以前にしらすを販売した際は好評だった。

メロンやスイカで変化を加えることはできる。

魅力ある商材を揃えるように心掛けていく。

・上町商盛会商店街振興組合 質疑応答

(委員)

灯ろう夜市の名物だったゴーヤのカーテンは実施していないのか。

(上町商盛会商店街振興組合)

道路の防犯カメラの妨げになるのでなくしてしまった。

(委員)

灯ろうについて、公募でどのくらい集める予定か。

(上町商盛会商店街振興組合)

新規で 200 くらい集めたいと思っている。

(委員)

灯ろうコンテストのような形にできないか。

(上町商盛会商店街振興組合)

検討している。景品を出したいと思っている。

イベント時には出店も復活させたいと思っている。

その他、うわまち病院の跡地を活用してイベントをやりたいと思っている。

(委員)

アンガージュマンのお子様にはどのようなことをしてもらうのか。

(上町商盛会商店街振興組合)

灯ろうの枠を切り抜いて作ってもらおうとしている。

(委員)

イベントでの景品はどのようなものか。

(上町商盛会商店街振興組合)

商店街店舗の商品を入れるようにしている。

(委員)

うわまち病院の跡地利用についてどうなっているか。

(上町商盛会商店街振興組合)

駐車場を活用したイベント広場と、お子様の遊べる遊具広場できる予定。

(委員)

マルシェ、遊具等の定番から初めて良いと思う。

(上町商盛会商店街振興組合)

普段の人通りはあまりない場所だが、キッチンカーを呼ぶと集客力はあるのか。
どのくらい前から計画してキッチンカーの声かけをすると良いか。

(委員)

早ければ早いほど良いが、3.4ヶ月前くらいで十分。

(上町商盛会商店街振興組合)

お客様用の駐車場は用意した方が良いか。

(委員)

なくても問題なく来場を見込めると考える。

(上町商盛会商店街振興組合)

別途相談する。

・三笠ビル商店街協同組合 質疑応答

(委員)

春のイベントについて教えてほしい。

(三笠ビル商店街協同組合)

予算と換金タイミングの関係でしばらくやっていなかった。

今年度はオリジナルグッズを制作しているので、
それをガラポン景品にすればできるようになる。

(委員)

お金をかけずにできるイベントをもっと増やせたら良い。

(三笠ビル商店街協同組合)

過去大道芸を実施した際には評判が良かった。

交通費を支給するくらいでお金はほとんどかからなかった。

(委員)

グッズはどんなものを制作したのか。

(三笠ビル商店街協同組合)

過去にはカレーを制作して評判は良かったが、
賞味期限があるため管理が難しかった。

その後、エコバッグを制作して、それも評判が良かった。

今回は折りたたみ傘とステンレスボトルを制作した。

汎用性を出すために、

双方とも三笠のロゴを入れる場所や大きさに注意して制作した。

イベント全体の予算を圧縮しないで制作できた。

(委員)

ステンレスボトルについて、小さいサイズ感のものは流行っているし、
保冷保温機能は経年劣化して買い替え需要があるので良い。

(三笠ビル商店街協同組合)

お客様の反応も見ながら大きなサイズも検討したい。

ノベルティ以外でも経費を抑えてイベントを増やせるように工夫している。

(委員)

ハロウィンイベントについて教えてほしい。

(三笠ビル商店街協同組合)

ハロウィンのターゲット層は商店街の中心ターゲットではない。

これまで個別で開催していたが、

回遊性と経費を考えるとヨコスカダウントウンクラブと
同時開催の形にした方がいいと思った。

(委員)

単体でハロウィンを行うと、それなりの仕掛けが必要で費用がかかるため、
他のイベントに乗っかる形が良いと考える。

(委員)

イルミネーションの事業費について、教えてください。

(三笠ビル商店街協同組合)

155 万円は大通り（若松、リドレ、大滝）全体のイルミネーション費用で、
35 万円は昨年から行っている商店街中心のツリー上のオブジェに
文字が流れるイルミネーション費用。

昨年実施した際、立ち止まって見ている人が多かったため、
面白い企画だと感じている。

・千日通商店街振興組合 質疑応答

(委員)

イルミネーションの際に、個店のプレートを取り付けて、
売上増加を図るとある。これは以前から実施していたか。

(千日通商店街振興組合)

実施していた。実施前後でお客様の増減は分からないのが正直なところ。
ただ、喜んでくれるお客様がいた一方で、ライトが点くと
プレートが見にくくなるという意見もあった。

反射材を使った方が良いのではないかという提案をされて、
試してみたがあまり効果はなかった。

今年は違う素材を試して、プレートが点いた時にも
名前が分かるような仕組みを考えてみようと思っている。

(委員)

プレートは全店舗につけるのか。

(千日通商店街振興組合)

店舗数は 80 弱あるが、30 店舗くらい。

1 店舗で何本も付けてくれるところがある一方で、

防犯カメラの関係で付けられない店舗を考慮すると、全店舗分はつかない。

(委員)

ベ이스ターズ応援キャンペーンについて、

告知はポスターとチラシ以外に行っているか。

(千日通商店街振興組合)

行っていない。

口コミで4月を待つて応募してくる人が多くいるので、
定例化されており、その他の広報の必要性を感じていない。

(委員)

商店街から SNS で発信することで、
お金をかけずに野球好きへの広がり期待できる。

(4) その他

(事務局)

今後の審査会スケジュールについては、後日調整をさせていただく。

以上で、商業振興補助事業審査委員会（第2回）を終了する。

商業振興補助事業審査委員会条例

(設置)

第1条 本市の商業の振興を図るための補助金に対して交付申請のあった事業の審査に関し、市長の諮問に応ずるため、商業振興補助事業審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、商業振興に関し専門知識を有する者及び市職員のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱され、又は任命された委員及び部会員の任期は、平成26年3月31日までとする。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

商店街にぎわいづくり事業補助金交付要綱

(総則)

第1条 地域の特性に対応した機能を高め、活力とにぎわいのある商店街づくりを進めるため、市内商店街団体が行う事業に対する補助金の交付については、補助金等交付規則（昭和47年横須賀市規則第33号。以下「規則」という。）に定めがあるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 商店街団体 商業者等が地域的に組織した次に掲げるものをいう。

ア 商店街振興組合

イ 商店街協同組合

ウ ア及びイに掲げるもののほか、法人化された商店街団体

エ アからウまでに掲げるもののほか、任意の商店街団体で市長が認めるもの

(2) コミュニティスペース 商店街利用者の交流を図ることができる場所のことをいう。

(補助対象事業)

第3条 補助の対象となる事業は、商店街団体が行う次に掲げる事業で、第1号に掲げる事業については原則として補助金の交付申請を行った年度内に完了するものとし、第2号、第3号及び第4号に掲げる事業については、補助金の交付申請を行った年度を含めて3年度までの間に完了するものとする。ただし、市長が特に認める場合は、この限りでない。

(1) にぎわいづくりイベント事業 次に掲げる販売促進を伴うイベント等の事業をいう。

ア まつり等の催物

イ 各種教室及び講習会

ウ 各種コンクール及び展示会

エ 期間を限定した大売出し

オ その他市長が適当と認める事業

(2) 集客力向上モデル事業 将来にわたって商店街の競争力や集客力強化を図るために、次に掲げる新規性や独創性のある事業で、かつ、取組みや効果に継続性や持続性があると認められるものをいう。

ア 子育て世帯（18歳未満の子が同居する世帯をいう。）の商店街利用を

促進するサービスの提供

イ 高齢者及び障害者が安心して利用できる商店街にするためのサービスの提供

ウ 商店街独自の商品の開発

エ 商店街活性化に関する事業計画の策定、事業の運営等に係るコンサルタントを活用

オ その他市長が適当と認める事業

(3) 商店街地域資源活用事業 商店街団体が各々の地域資源を活用し、当該商店街の活性化を図るための事業

(4) 商店街空き店舗活用事業 商店街団体が魅力や集客力向上のために、商店街内の空き店舗を新たに借り上げ、コミュニティスペースを作成し、年間を通じて様態を変えて運用する事業

2 前項第2号に掲げる事業にあつては、同一の商店街団体が既に補助金を受けた際の事業内容と類似した内容の場合は、補助の対象としない。

(事業の公募)

第4条 補助金の交付を受けようとする商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に希望調書を作成し、市長に申請するものとする。

(事業の選定)

第5条 市長は、前条の希望調書の提出を受けたときは、その内容を審査し、適当と認めたときは補助対象の事業として選定するものとする。この場合において、市長は、必要に応じ、当該希望調書を提出したもの及び商店街の振興に関し専門的知識を有する者の意見を聴くものとする。

(補助対象経費)

第6条 補助対象となる経費(以下「補助対象経費」という。)は、前条の事業の実施に要する経費のうち、次に掲げるものとする。

(1) 施設及び設備の借上料

(2) 施設及び設備(第2条第1号エに該当する商店街団体が行う第3条第1項第1号、第2号及び第3号に掲げる事業にあつては、減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年3月31日大蔵省令第15号)で規定する耐用年数3年以内のものに限る。)の購入費

(3) 装飾費

(4) 印刷費(開催案内、宣伝ポスター等)

(5) 教材費(テキスト等事業の実施に直接必要なもの)

(6) 報償費(講師謝金、商店街モニター謝金等)

(7) 委託費

(8) 原材料費

(9) その他市長が必要と認める経費

- 2 前項の規定にかかわらず、補助の対象となる事業の実施に伴う事業収入の額及びこの要綱の規定による補助金と同様の趣旨の他の補助金等の交付（国、県その他団体によるものを含む。）を受けている場合における当該補助金等の額については、補助対象経費の総額から差し引くものとする。

（補助金額）

第7条 補助金額は、予算の範囲内において、次の表の左欄に掲げる事業区分に応じそれぞれ同表の中欄に定める補助金額（同表右欄に掲げる額を限度とする。）を合計した額とする。

事業区分	補助金額		補助限度額
第3条第1項第1号に掲げる事業	補助対象経費の総額÷3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第2号に掲げる事業	補助対象経費の総額×2÷3 ただし、補助対象経費の総額の下限額は30万円とする。		200万円
第3条第1項第3号に掲げる事業	補助対象経費の総額×2÷3		100万円
第3条第1項第4号に掲げる事業	第6条第1項第1号のうち、空き店舗の借上料	補助対象経費の総額÷2	100万円
	空き店舗の借上料以外の経費	補助対象経費の総額÷2	50万円

- 2 前項の規定により算出した補助金額に1,000円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

（申請手続き等）

第8条 第5条の規定により選定された商店街団体は、市長があらかじめ指定した期間内に補助金等交付申請書を提出しなければならない。

- 2 規則第4条第3号に規定する補助金の交付申請に添付するその他の参考と

なる書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 商店街団体会則
 - (2) 商店街団体会員名簿
 - (3) 当該事業の実施について議決した総会等の議事録の写
 - (4) その他市長が必要と認める書類
- (書類等の保管)

第9条 規則第8条に規定する書類及び帳簿等は、当該補助事業の完了した市の会計年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第10条に規定する市長の定める書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業内容が確認できる書類
- (2) 商店街にぎわいづくり事業収支明細書(別記様式)
- (3) 補助対象経費に係る支払領収書の写
- (4) その他市長が必要と認める書類

附 則

この要綱は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 生き生き商店街サポート事業補助金交付要綱（平成20年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

- 1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 空き店舗出店奨励金交付要綱（平成21年3月4日制定）は、廃止する。

附 則

この要綱は、平成26年8月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別記様式（第10条関係）

商店街にぎわいづくり事業収支明細書

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
市 補 助 金			
自 己 資 金			
そ の 他			
計			

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
計			

タイムスケジュール

資料 2

資料 NO.	時間	事業区分				団体名	事業名
		モデル	地域資源	空き店舗	にぎわい		
	14:00 ~ 14:05						開会あいさつ、審査会実施方法の確認 等
4-1	14:05 ~ 14:25				○	北久里浜商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・「北久里浜商店街商品券」発行事業 ・第20回北久里浜秋まつり&ハロウィン ・イルミネーション事業 ・ドリームウィンターキャンペーン2025 ・第18回北久里浜クリーンキャンペーン ・第28回北久里浜桜まつり
4-2	14:25 ~ 14:45				○	野比駅前商店会	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ります宣言売り出し、サマーセール ・頑張ります宣言売り出し、ウィンターセール ・頑張ります宣言売り出し、春のバザール
4-3	14:45 ~ 15:05				○	一般社団法人リドレ商店会	<ul style="list-style-type: none"> ・LIDRE マルシェ ・LIDRE 街角ライブ ・LIDRE 感謝祭 ・イルミネーション 装飾事業
	15:05 ~ 15:15						休憩 (10分)
4-4	15:15 ~ 15:35				○	上町商盛会商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・「い〜じゃんうわまち元氣祭」灯ろう夜市 ・「い〜じゃんうわまち元氣祭」秋の収穫祭 ・「い〜じゃんうわまち元氣祭」梅まつり
4-5	15:35 ~ 15:55				○	三笠ビル商店街協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕装飾 ・ハロウィン in ミカサ ・歳末ガラポン抽選会 ・春の三笠まつり
4-6	15:55 ~ 16:15				○	千日通商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・街路灯イルミネーション ・横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン

1 商店街にぎわいづくり事業補助金 審査方法について

(1) 補助金申請区分について

商店街にぎわいづくり事業補助金には、以下の4種類の申請区分を設けています。

ア にぎわいづくりイベント事業

対象事業：商店街が賑やかしや集客などのため、主に定期的に取り組んでいる販売促進を伴うイベント等の事業。

補助率：1/3

限度額：200万円

イ 集客力向上モデル事業 ※採択事業

対象事業：商店街が新たに取り組む、将来にわたって商店街の競争力・集客力強化を図る新規性・独創性があり、かつ取り組みや効果に継続性・持続性がある事業。

補助率：2/3

限度額：200万円

ウ 商店街地域資源活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が既に商店街の地域内で認知されている本市地域資源を活用し、地域外へのPRを進め、商店街の活性化を図るための事業。

補助率：2/3

限度額：100万円

エ 商店街空き店舗活用事業 ※採択事業

対象事業：商店街が魅力や集客力向上のために、新たに、商店街の空き店舗を借り上げ、それを活用してコミュニティスペース等を作成し、年間を通じて、様態を変えて運用する事業。

補助率：1/2

限度額：最大3年間の継続補助とする

	1年目	2～3年（予定）
家賃	100万円	100万円
家賃以外の経費	50万円	30万円

(2) 審査の実施目的について

申請区分ごとに以下の目的で審査を行います。

ア にぎわいづくりイベント事業

審査目的：採点を行わず、審査員からの意見や助言等を提供すること

イ 集客力向上モデル事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

ウ 商店街地域資源活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

エ 商店街空き店舗活用事業

審査目的：別添採点表に基づき事業を採点し、補助採択の合否を決定すること

(3) 採点方法について

別添採点表に基づき、4項目×各5点＝20点満点で評価を行います。

審査委員の合計が70%を超えるものを採択します。

(例) 審査員が6名の場合、120点満点中84点を超えるものを採択

⇒ 70%を超える事業

① 採択 (補助率 2/3) (採択にあたって条件を付すものを含みます)

⇒ 70%以下の事業

② にぎわいづくりイベント事業に該当する事業 (販売促進を伴うイベント等の事業)

⇒ にぎわいづくりイベント事業補助金の申請として受付 (補助率 1/3)

(4) 採点基準

4つの審査項目について5段階で評価します。

各項目とも「3」を採択基準ラインとします。

配点	審査項目への適合
5	審査項目の内容を十分に満たしている
4	⇕
3	審査項目の内容を概ね満たしている
2	⇕
1	審査項目の内容を満たしていない

にぎわいづくりイベント事業 希望調書

資料 4

5月27日分

NO.	審査実施 時間	団体名	事業名
1	14:05 ~ 14:25	北久里浜商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・「北久里浜商店街商品券」発行事業 ・第20回北久里浜秋まつり&ハロウィン ・イルミネーション事業 ・ドリームウィンターキャンペーン2025 ・第18回北久里浜クリーンキャンペーン ・第28回北久里浜桜まつり
2	14:25 ~ 14:45	野比駅前商店会	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ります宣言売り出し、サマーセール ・頑張ります宣言売り出し、ウィンターセール ・頑張ります宣言売り出し、春のバザール
3	14:45 ~ 15:05	一般社団法人リドレ商店会	<ul style="list-style-type: none"> ・LIDRE マルシェ ・LIDRE 街角ライブ ・LIDRE 感謝祭 ・イルミネーション 装飾事業
4	15:15 ~ 15:35	上町商盛会商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・「い〜じゃんうわまち元気祭」灯ろう夜市 ・「い〜じゃんうわまち元気祭」秋の収穫祭 ・「い〜じゃんうわまち元気祭」梅まつり
5	15:35 ~ 15:55	三笠ビル商店街協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕装飾 ・ハロウィン in ミカサ ・歳末ガラポン抽選会 ・春の三笠まつり
6	15:55 ~ 16:15	千日通商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> ・街路灯イルミネーション ・横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン

令和7年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	北久里浜商店街振興組合		会員数	202
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(7,200,000円) 1/3→	(2,000,000円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です（初回費用無料）。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	「北久里浜商店街商品券」発行事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	商店街の賑促事業の一環として実施する。 当商店街の主催するイベントでの景品はすべてこの 商品券を充て、売上げの向上と集客を図り、お店 の利用率を高める、これが実施目的と成ります。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	一般に使われる商品券と、実施するイベント等 で使用されるものを混同させないため、イベント用 の商品券は種類を変えたものを作成し発行する。 その標記することにより、イベントで使われた数値 がいずれ正確に把握できるようにいたします。
実施時期	各イベント毎に実施。随時。
実施場所	市内全域
事業のセールスポイント	商品券の利便性できるお店の一覧表を作成し、 これと配布します。この商品券を発行、流布させ 利用することにより、組合員の売上げ向上を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	/		
広報手段	イベントの実施広告に、商品券使用とPRする。		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	16,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	新たに加盟店には、この商品券の利用できる店舗になって頂けるように促し、先でも利用できる店舗を増やし、活性化を図りたい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	前年度の商品券の販売高及び換金額の2割増しを掲げる目標です。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	各店舗の来客数の通常より2割増しです。	通常時	人
今後の展開	これからも地域の町内会や関連団体へ、実施するイベントの景品や謝礼等に、この商品券をお渡しもらえるように働き掛けていきたい。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	報償費	330,000	2. 秋まつり ステージ出演者謝礼
	〃	20,000	3. イルミネーション 協力金
	〃	430,000	4. ドリームウィンター 賞品
	〃	320,000	6. 桜まつり ステージ出演者謝礼
	合計	1,100,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	才20回 北久里浜秋まつり&ハロウィン
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	当商店街の北久里浜まちづくり協議会や大津観光協会と共催で開催するイベントです。 このイベントを通して地域住民や関連団体との親睦や結束を深め、その交流によって商店街の活性化、発展を図る、それが実施目的です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	商店街の中央に在る根岸交通公園及び根岸オ3公園にて実施します。交通公園の中央にステージを設け、ハロウィンコンテストや神奈川県警の音楽隊の演奏、地元学校生らに依頼パフォーマンスが展開され、ビンゴゲームなども実施します。 会場には地震体験車、献血車なども並び、積須呉最大規模と云われるフリーマーケット約230店や各種模擬店などが出店します。 昨年の才19回(10/19)の来場者数はまたもや1万人超えと云われ大盛況でした。
実施時期	令和7年10月18日(土)
実施場所	根岸交通公園 及び 根岸オ3公園
事業のセールスポイント	当商店街、地元町内会(根岸1丁目町内会～根岸5丁目町内会、根岸CMK町内会)及び大津観光協会が共に手と携え開催する北久里浜最大のイベントです。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	広報によらず、「タウンニュース」「はまの世」などに掲載記事と掲載し、商店街のホームページにも掲載をPR。またポスターと周遊団体や地元町内会に配付し、関係各所へイベントプログラムを送付する。		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	161,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	ハロウィンコンテストの入賞者の発表などの際に、この企画は北久里浜商店街の協力に依り実施していること伝え、買い物には北久里浜商店街をご利用くださいと宣伝する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	来場者数1万人超え。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	来場者数は約1万14人と はまの世新聞は記事に載せていた。	通常時	約50人
今後の展開	今回、イベントステージでパフォーマンス披露してくれた地元の学校と連携して、地域懇談会に参加を約束できた。 このように継続的に商店街との交流の場を創っていき、子育て世代の定着を更築していきたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	装飾費	690,000	駅前看板、フラッグ
	印刷費	200,000	ポスター、チラシ、プログラム
	報償費	130,000	ステージ出演者謝礼、ハロウィンお菓子
	設備工事費	200,000	音響、仮設電源
	消耗品費	20,000	ビンゴカード
	広報宣伝費	460,000	はまかせ新聞
	合計	1,700,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	イルミネーション事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>今や商店街の年々若者の風物詩となっているイルミネーション事業は、多くの皆さまから支持を得ています。</p> <p>駅前には繁華な南やその周辺、そして商店街の街路灯に「街路灯イルミネーション」を施し、商店街エリアを華やかに活気あるものに、取次促進に役立てる。これが実施目的！</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>駅前ロータリーの一部と深夜の月曜に掛けて閉鎖させて頂き、高圧作業車に依り「南」をイルミネーションで飾ります。その「交通規制のお知らせ」は、事前に駅前周辺の店舗及び事業主に配付して回ります。そして横須賀警察署や行政機関に届け出を行い許可を得ます。</p> <p>街路灯に施す「街路灯イルミネーション」は、付近の店舗から電源を借りて、その電灯料は商店街の商品券でお支払いしています。現在22店舗を数え、皆さまからは店舗前の明るくなって嬉しい、とても喜ばれています。因みにこの街路灯イルミネーションはリースですが、駅前のイルミネーションは買い取りです。</p>
実施時期	令和7年11月22日(土)～令和8年1月31日(土)
実施場所	北久里浜商店街エリア
事業のセールスポイント	<p>商店街の顔とも云える駅前周辺、そしてそのシンボルとも云える南に、色彩豊かなイルミネーションを施すことで、年々若者のムードを華やかに高めます。又「ハナミズキ通り」にも「街路灯イルミネーション」を設置し活性化を図ります。大好評のイベントです！</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	駅前商店街沿いの大型看板にイルミネーション設置のお知らせを付添いして掲出しています。カウチで座るようなものなので、広報手段としては最適であると思います。		
広報範囲	商店街の掲示板はデニースクにもあり、そにも掲出の	広報対象人数	約10,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	経費にも関わる問題ですが、旗のイルミネーションはもっとグレードアップしていきたいと思っています。		
【目標】 商店街で掲げる目標	このイルミネーション事業により、年末年始商戦を勝ち抜き、各店舗の売り上げを20%はアップさせてい。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	この事業に依り各店舗売り上げ集客を20%アップしたい。	通常時	店舗にもよるが通常100人から120人を目標に!
今後の展開	今後は、予算の許す限り、イルミネーションとグレードアップして、皆様に「さすが北久里のイルミネーションだ」と言われるような見事なものにしていきたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	装飾費	1,370,000	駅前看板、駅前・街路装飾
	設備工事費	100,000	仮設電源
	その他	30,000	電気料金
	合計	1,500,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	ドリーム ウィンターキャンペーン2025(冬のスクラッチ)
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	年末のイルミネーション点灯との相乗効果で、一層の 盛り上がりを見せる。年末商戦の切り札ともいえる冬 のスクラッチは、買ったその場で当選の確り、組合事ムシ である。景品(商店街の商品券)と交換することのできる。 その簡便さの人気のイベントで、年末商戦に拍車をかける。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	イベント参加希望店には、ポスター、チラシと連発し、スク ラッチも多数用意し、一切費用はかかりません。 広報手段としては、「よまかせ」に店名入り広告記事と 掲載し、チラシの新聞折りと組み合わせています。 当選本数は約2千本で、3枚に1枚は当選から当た る計算になっています。景品は当商店街の商品券です。 アドユガにスクラッチと差し上げるときは、条件は、 参加店さまの自由に決めます。景品(賞)の内訳は、1等 商品券と10,000円分、2等は商品券5,000円分、3等 は、商品券500円分、4等300円分、5等100円分です。
実施時期	令和7年12月1日～12月31日
実施場所	北久里浜商店街エリア
事業のセールスポイ ント	当選本数は約2,000本で、3枚に1枚当たる。 当選は買ったその場で確り。そしてすぐ組合事ム シで景品と交換できます。その簡便さの人気のイベント。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	「はまの世」に広告記事を掲載(参加店名も掲載する) チラシの新聞折込(朝日新聞)		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	161,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	来等(100円)かもしれないが、少しでも多くのお客さま に当たってもらうよう、当選本数と少しでも増やせたら と思っています。		
【目標】 商店街で掲げる目標	当選景品との引き換え率を少しでも高めたい。 このイベントにより、年末商戦の勝ち組につなげて頂く というのがオールの目標です。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	通常、20%アップの 来客者数が目標です。	通常時	300 人
今後の展開	課題としては、当選本数と念頭に入れての発行 枚数です。簡便で面白いとスクラッチして人気か ありあろうか、外れると念頭に不満顔になりあろう。あえて もくじの種ですか、そこを理解して呉れる方もいるかも。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	300,000	ポスター、チラシ、スクラッチカード
	委託費	5,000	新聞折込
	広報宣伝費	495,000	はまかせ新聞、ホームページ掲載
	合計	800,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
5	★18回北久里地区クリーンキャンペーン
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	以前に近隣の学校生の協力を得て実施したクリーンキャンペーンでしたが、交通事情もあり、今回も関係のみで実施します。商店街の組合員、まちづくり協議会並びに行政の方々と手を携え、年末の商店街エリアの清掃活動を行います。明るく清潔な商店街づくり、これが実施目的です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	クリーンおすまの合言葉「私たちのまちはお私たちの手で！」をスローガンに掲げ、今回で18回！今年も商店街の組合員、まちづくり協議会の有志の方々により実施します。商店街の美観形成は、見逃しある商店街には欠かせません。そしてこれは商店街の社会奉仕活動の一環として実施します。駅前集合し、4つのコースに分かれて清掃して約一時間の後、★3公園を目指します。昨年の参加人数は120余名。その様子は「よまのせ」にも取り上げられ記事となりました。この活動は商店街の活性化に繋ぐ、必ずお祭りに寄り添います。
実施時期	令和7年12月16日(火)
実施場所	北久里商店街エリア
事業のセールスポイント	師走の忙しい中と、組合員さまを始め、まちづくり協)の方々、行政機関、市議会の方々も駆けつけて来て頂きます。感謝の気持ち、★3公園はゴミ捨て場でもあります。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	5		
広報手段	「クリーンキャンペーン」の参加者募集の案内と組合員及びまちづくり協議会の皆さん並びに関係者に配付して参加者を募ります。		
広報範囲	北久里浜音石街エリア	広報対象人数	約300人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	参加者の高齢化が顕著になってまいりました。 これから若い方への参加の呼びかけをしたいと思っております。		
【目標】 商店街で掲げる目標	駅前集合のとき、あまり多くの方になると交通の妨けになり警察から注意を受けることもあると思っておりますので、120人～130人ぐらいの参加者を考えています。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	約130人	通常時	人
今後の展開	諸事情(交通の関係等)に依り今後とも関係者、有志のみでの実施となります。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	報償費	100,000	参加品
	消耗品費	300,000	スタッフジャンパー、軍手、ゴミ袋
	合計	400,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 No.	事業名
6	★28回北久里桜まつり
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	北久里桜まつりは、当商店街とまちづくり協議 会及び大津観光協会との共催にて開催されます。 このイベントを通して当商店街と広範囲に亘って繋がって 頂き、地元住民との交流を深め、更には商店街の 活性化を図っていきたい、というのが実施目的です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	商店街の中央に在る板岸交通公園及び板岸オ3 公園を利用してイベントステージを設け、楽警音楽隊 や地元学校生に依るパフォーマンス、ビンゴゲーム等々 さまざまな催しが開催されます。会場には横須賀最大 といわれるフリーマーケット(約230店)、そして色々な模擬 店が並びます。また来場されるお子さんには、風船 やティッシュ等も配られて大いに賑わいます。6年ぶり に開催された昨年の桜まつりは好天に恵まれ、桜まつ り式典には上地市長も出席されて大いに盛り上がりました。 推定来場者数1万1千人とのと。今回も1万人を超えを目指す!
実施時期	令和8年3月21日(土)
実施場所	板岸交通公園及び板岸オ3公園
事業のセールスポイ ント	商店街とまちづくり協議会、大津観光協会に体 となって開催する北久里最大のイベントです。 北久里発展、横須賀全体の活性化を目指します!

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	6		
広報手段	広報による、「よまのせ」「タウンニュース」を活用します。 またポスターやイベントプログラムを関係各所に送付します。 駅前的大型看板等に大型ポスターを掲出します。		
広報範囲	市内全域	広報対象人数	161,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	コロナ禍や悪天候の為開催中止と余儀なくされてきた が、今年は好天に恵まれ今年ぶりに実施することになりました。 と、地市長にもご臨席賜りました。この流れで今年も開催したい。		
【目標】 商店街で掲げる目標	来場者数一万人超えを目指します。小さなお子さんから高齢 者に至るまで、皆様に楽しんで頂けるイベントを目指しています。 そしてそれは必ずや、北久里浜の発展に繋がるもの我们相信しています。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1.2万人	通常時	推定50人
今後の展開	今回、イベントステージで素晴らしいパフォーマンスを展開して くれた地域の学校と連携を密にし、地域懇談会に出 席することになった。そして継続的に商店街との交流の 場を作りたい。子育て世代の定着を図りたい。		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	装飾費	690,000	駅前看板、フラッグ
	印刷費	200,000	ポスター、チラシ、プログラム
	報償費	130,000	ステージ出演者謝礼、ハロウィンお菓子
	設備工事費	200,000	音響、仮設電源
	消耗品費	20,000	ビンゴカード
	広報宣伝費	460,000	はまかぜ新聞
	合計	1,700,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	野比駅前商店会		会員数	41
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input type="checkbox"/> 法人 <input checked="" type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(1,560,000 円) 1/3→	(520,000 円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する <input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない

事業 NO.	事業名
①	頑張ります宣言売出し、サマーセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>1、イベント(セール)期間中の売上の増加と、通常営業のときにもセールの勢いで売り上げの増加を持続させる。</p> <p>2、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。</p> <p>3、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。 また非加盟店との差別化を顕著化する。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。</p> <p>2、抽選による商店会で使用可能な商品券のプレゼント。(1等5000円、2等1000円、3等の500円の商品券の贈呈)</p> <p>3、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR</p> <p>4、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。</p>
実施時期	令和7年7月中旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	<p>昨年はマスコットキャラクターのTシャツを製作し、各加盟店に配布した。今年も積極的に活用し、多くの人に知ってもらい、子どもや住民に親しまれる商店街を目指す。</p> <p>(にぎわいづくりイベント事業)</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	①		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド 栗田等)	広報対象人数	30,000人(12,000世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進		
	につなげる。今年もマスコットキャラクターを活用したグッズの作成を する。		
	お客さんの喜ぶ景品等を用意する。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上10%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3000人	通常時	1500人
今後の展開	昨年マスコットキャラクターのTシャツを製作し、各加盟店に配布し		
	た。今年もマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、		
	お客さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントでPRする。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	210,000円	チラシ、応募券
	広告宣伝費	150,000円	ポスター、新聞折込み
	賞品	300,000円	景品等
	合計	660,000円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

事業 NO.	事業名
②	頑張ります宣言売出し、ウインターセール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、イベント(セール)期間中の売上の増加と、通常営業のときにもセールの勢いで売り上げの増加を持続させる。 2、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 3、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。 また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、抽選による商店会商品のプレゼント。(1等3万円、2等1万円の商品・利用券の贈呈等) 3、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちゃん」のPR 4、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。 5、神奈川県、横須賀市のプレミアム商品券事業を併用して、各加盟店の売り上げに貢献する
実施時期	令和7年12月下旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	プレミアム商品券を活用し、各商店の売り出しと合わせて、お得に買い物ができること。昨年マスコットキャラクターのTシャツを製作し、各加盟店に配布した。今年もマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、お客さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントでPRする。子供や住民に親しまれる地元に着目した商店会を目指す。

事業 NO.	②		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000人(12,000世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進		
	につなげる。今年もマスコットキャラクターを活用したグッズの作成をする。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上10%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	3,000人	通常時	1,500人
今後の展開	昨年マスコットキャラクターのTシャツを製作し、各加盟店に配布し		
	た。今年もマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、		
	お客さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントでPRする。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	印刷費	210,000円	チラシ、応募券
	広告宣伝費	150,000円	ポスター、新聞折込み
	賞品	300,000円	景品等
	合計	660,000円	

事業 NO.	事業名
③	頑張ります宣 売出し、春のバザール
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	1、野比駅前商店会という組織が存在し、積極的に販売活動を行っていることを近隣住民に知ってもらう。 2、個店が商店会に加盟しているメリット・在籍意義を提供する。また非加盟店との差別化を顕著化する。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	1、各店特別売出しと「やさしいおもてなし」のPR。 2、野比駅前商店会の公式マスコットキャラクターすいせんの「すいちやん」のPR。 3、全個店名をチラシに掲載し各店のアピールを行う。
実施時期	令和8年3月下旬
実施場所	野比駅前商店街内
事業のセールスポイント	マスコットキャラクターを積極的活用し、子供や住民に親しまれる地元に着目した商店会を目指す。

事業 NO.	③		
広報手段	チラシの新聞折込、HP、店頭ポスター		
広報範囲	商店街周辺(野比、ハイランド等)	広報対象人数	30,000人(12,000世帯)
前年度からの改善 (定例事業の場合)	マスコットキャラクターのイメージを定着・発展させ、各店の販売促進 つなげる。		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の売上10%増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	2,500人	通常時	1,500人
今後の展開	昨年マスコットキャラクターのTシャツを製作し、各加盟店に配布し た。今年もマスコットキャラクターを活用した事業を展開することで、 お客さんへの周知をさらに広げ、様々なイベントでPRする。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	印刷費	80,000円	チラシ
	広告宣伝費	120,000円	ポスター、新聞折込
	合計	200,000円	

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調査

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	一般社団法人リドレ商店会		会員数	21
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人
代表者	[REDACTED]			<input type="checkbox"/> 任意
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(6,000,000 円) 1/3→ (2,000,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	LIDRE マルシェ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>地元の新鮮で美味しい農産物、水産加工品や畜産加工品などを生産者が中心となりマルシェスタイルで販売する。横須賀中央エリアの中心市街地活性化を目指し下町商店街及びLIDRE 横須賀の賑わいの創出を目的とする。生産者が、地元のお客様に三浦半島でとれたものを食べてもらいたい思いを実現するために継続開催をして9年になる。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>三浦半島の農家の新鮮な野菜、地元食材を使った手作り弁当を生産者、料理研究家が販売する。LIDRE 入口風除室にて開催。雨天、強風時でも開催できお客様も足を止めてくれる。月1回の定期開催により着実にお客様が増加傾向で今後も継続する。</p> <p>『YOKOSUKA ダウンタウン ストリート』を開催。</p> <p>LIDRE マルシェ、街角ライブ、街市、フリーマーケットを同時開催しLIDRE 周辺の商店街と共催でより多くの集客をはかれた。</p> <p>今年度もさらに内容を強化して開催する。</p> <p>山形県の農産物販売も好評で干し柿を中心に前年度6日間開催した。</p> <p>本年度も開催予定。</p>
実施時期	月1回の開催（野菜の端境期はなし）
実施場所	LIDRE 横須賀 メインエントランス風除室
事業のセールスポイント	<p>三浦半島の農家の新鮮な野菜中心に生産者自ら販売する。珍しい食材も生産者が、調理、食べ方を丁寧に説明してくれる。また、新鮮な三浦半島の野菜を使用した手作りのお弁当の販売も行う。</p> <p style="text-align: right;">(にぎわいづくりイベント事業)</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	館内デジタルサイネージ、FB 他		
広報範囲	横須賀市中心 一部神奈川県内。	広報対象人数	10,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	三浦半島食彩ネットワークのメンバー中心の開催。		
	野菜中心ですが、加工品も加えてバラエティーに富んだ展開を		
	プラスします。		
【目標】 商店街で掲げる目標	三浦半島の新鮮野菜を地元のお客様に直接販売することを継続開催する。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	200 人/1 開催当たり	通常時	0 人
今後の展開	『YOKOSUKA ダウンタウン ストリート』を充実させ		
	継続開催を実現し、横須賀中心市街地の活性化を図り横須賀中央が		
	にぎわいの溢れる楽しい街になるよう展開していく。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	事業費	400,000	
	販売促進費	200,000	
	合計	600,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して事業費

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	LIDRE 街角ライブ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>横須賀市の「音楽があふれる、ワクワクする街へ」</p> <p>ヨコスカ街なかミュージックの一環として『LIDRE 街角ライブ』を開催する。2016 年 4 月にオープンして以来、9 年間継続開催している。中心市街地の活性化には、とても効果的な企画でこれからも継続する。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>① LIDRE 街角ライブ</p> <p>ヨコスカ街なかミュージック登録アーティストを中心に企画。</p> <p>ハロウィン、トモダチジャズ、いーちゃ・イチャフェス他と連携。</p> <p>『YOKOSUKA ダウンタウン ストリート』にて拡大開催。</p> <p>② YouTube（店頭デジタルサイネージ）での LIDRE 街角ライブ</p> <p>コロナ禍でライブの開催ができず、映像を作成して YouTube & 店頭大型モニターにて配信してきた。</p> <p>今後も横須賀の歴史ある風景、建物などを地元のミュージシャンの音楽と共に制作し配信する。</p> <p>https://www.youtube.com/@lidreyokosukachannel2339</p>
実施時期	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
実施場所	LIDRE 店頭特設ステージ、YouTube、1 階エントランス大型モニター
事業のセールスポイント	<p>「音楽があふれる、ワクワクする街へ」</p> <p>ヨコスカ街なかミュージックの一環として</p> <p>『LIDRE 街角ライブ』を 2016 年より継続開催</p>

（にぎわいづくりイベント事業）

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	はまかぜ、タウンニュース、神奈川新聞、店頭チラシ、ポスター掲示、デジタルサイネージ、フェイスブック他		
広報範囲	横須賀市内を中心に 一部神奈川県内。	広報対象人数	20万人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	1階メインエントランスとサブエントランスにカメラを設置し、		
	イベント等、開催時と平常時の来店客数を把握して効果の検証が		
	できるように改善した。4/8(火)から来店客数カウントを開始。		
【目標】 商店街で掲げる目標	「音楽があふれる、ワクワクする街へ」の継続開催をするとともに ジャンルにとらわれないパフォーマンスで中心市街地活性化を目指す		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	300人/1開催	通常時	0人
今後の展開	ハロウィン、トモダチジャズ、いーちゃ・イチャ他のイベントとも		
	連携しながら内容を充実させ魅力あるイベントに育てる。		
	10周年を視野に買う方面とのコラボ企画も検討する。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	事業費	3,000,000	
	販売促進費	400,000	
	合計	3,400,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して事業費

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	LIDRE 感謝祭
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>開業 9 周年を迎えるため、日ごろの感謝の気持ちを込めて実施する。</p> <p>LIDRE の PR 及び中心市街地活性化に繋がるよう企画実行する。</p> <p>2016 年 4 月、開業以来、継続して実施し定着した。</p> <p>年に 1 度のアニバーサリーとして、今後も感謝を込め継続して開催いたします。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>4/15 (火) LIDRE 大抽選会開催</p> <p>LIDRE にて当日お買い上げのお客様、先着 1,500 名様に抽選券配布。</p> <p>リドレ商品券総額 50 万円分、ベ이스ターズペア観戦チケット、 防災関連グッズ等、豪華賞品が当たる大抽選会を開催した。</p> <p>2026 年度 10 周年感謝祭時は、景品数 2000 個を用意できるよう 準備する</p>
実施時期	2025 年 4 月 15 日 (火)
実施場所	LIDRE 横須賀 1 階エスカレータ横
事業のセールスポイント	<p>LIDRE 感謝祭は、継続開催により名物企画として浸透し多くのお客様の来館が期待できる。魅力ある商品、商品券 (2 か月間有効) を賞品とすることで、新しいお客様の獲得、再来店の機会創出が期待できる。</p> <p>館が一体となり『お客様に感謝のおもてなし』を心がける。</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

(にぎわいづくりイベント事業)

事業 NO.	3		
広報手段	はまかぜ、タウンニュースに掲載。館内デジタルサイネージ掲出。ポスター店頭掲出、イベント開催時、テナントにてチラシ配布。		
広報範囲	横須賀市、三浦半島	広報対象人数	25万人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	賞品にテナントで販売している「防災グッズ」を用意してPR。		
	景品に話題のベ이스ターズペア観戦チケットなど新規顧客獲得を		
	目指しテナント買廻り効果も期待できる。		
【目標】 商店街で掲げる目標	抽選会参加者 1,500人		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	6,000人	通常時	4,000人
今後の展開	継続して毎年開催する。		
	10周年に向けて企画内容の検討に入る。		
	開催資金についても毎年の予算の中から積立を行う。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	事業費	800,000	
	販売促進費	200,000	
	合計	1,000,000	

(にぎわいづくりイベント事業)

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	イルミネーション・装飾事業
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>中央下町地区商店街の活性化と賑わいの空間づくりを目的に、</p> <p>横須賀市の掲げる『音楽があふれる、ワクワクする街に』をテーマに装飾を行なう。</p> <p>中央下町地区商店街の活性化と賑わいの空間づくりを目的に装飾する。</p> <p>本年も継続して実施する。</p>
施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>横須賀中央イルミネーション協議会にて実施</p> <p>若松商店街振興組合、三笠ビル商店街協同組合</p> <p>大滝商店街振興組合、一般社団法人リドレ商店会</p> <p>Yデッキ 駅前メインツリー</p> <p>中央大通り樹木 36本 モアーズ前 2本 計38本</p> <p>フォトスポットを設け、フォトコンテストを継続実施予定。</p> <p>LIDRE 正面入口装飾は、来年の開業10周年を記念して、三浦半島をテーマに中西 隆浩（なかにし たかひろ）先生に作成を依頼した。</p> <p>プロフィール https://www.aquarld.com/</p>
実施時期	2025年11月1日～2026年3月31日
実施場所	横須賀中央Yデッキ～バス通り大滝町まで
事業のセールスポイント	<p>イルミネーションで街を美しく輝かせ、街行く人に笑顔を与える。</p> <p>フォトコンテストの開催によりInstagramで開催のPRができ関心が高まり集客に期待ができる。</p> <p style="text-align: right;">（にぎわいづくりイベント事業）</p>

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	はまかぜ、タウンニュース、神奈川新聞、店頭チラシ、ポスター掲示、デジタルサイネージ、HP、フェイスブック他		
広報範囲	横須賀市内を中心に 一部神奈川県内。	広報対象人数	16万人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	前年に少しずつでもLED球数を増加していくよう予算面で工夫する。		
	フォトコンテストのPRを充実し、継続開催することで集客増を		
	図る。		
【目標】 商店街で掲げる目標	イルミネーションで街を美しく輝かせ、街行く人に笑顔を与える。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	人	通常時	人
今後の展開	横須賀中央イルミネーション協議会にて、イルミネーションを		
	毎年継続開催し、市民に親しまれるよう工夫していく。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	事業費	1,000,000	
	合計	1,000,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	上町商店街振興組合		会員数	43
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(964.000 円) 1/3→ (321 ,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
/	「いーじゃんうめまち元気祭」 灯ろう夜市
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	お盆に先祖をお迎えする為に始めた 灯ろう夜市。大人向けに考えていたところ 浴衣を着た子供達が楽しんでいました。 灯ろうの灯をローソクから電池の灯にして ぶつかっても安心に
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	「アンダーグラウンド」に協力してもらい公募の絵の 受付やダンボールで作った灯ろうの作成を。 組合員は公募の絵を貼って店名を公募者に お知らせすると同時に何かイベントを工夫する 「灯ろうと「ゴーヤのカーテン」は非常にマッチするので ぜひやりたいが昨今の社会情勢により「ゴーヤ のカーテン」が「防犯カメラ」の代りになるという事 で断念する。
実施時期	令和7年7月11日(金) 12日(土)
実施場所	上野高盛会大通り
事業のセールスポイ ント	公募にて描いた絵や文字が「灯ろう」となってもらえる 歩道に置かれた自分又は家族の灯ろうと家族と一緒に 写真や動画が撮れる。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	店頭ポスター・アーケード内放送・今既リチラシ		
広報範囲	上野・幸町台・田戸台・宮城町 佐野町・利根町・他	広報対象人数	10,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	灯3うの後の公募の期間が短かったので倍の 2ヶ月間位にしたい		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の来店者 20% 増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	10,000 人	通常時	1,000 人
今後の展開	商感会のある限り、やっていきたい。 希望する商店会に「灯3う」のノウハウを伝えたい		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	印刷費	80,000	店頭ポスター・チラシ・応募券等
	報償費	100,000	灯3う作成費
	消耗品費	30,000	ボールペン・サマター等他
	合計	210,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	「いーじゃんうわまち元気祭」 秋の収穫祭
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	商店街に来られたお客様に楽しくお買物を
	していただく為、店との関係性を深め
	おおいに楽しんでいただく、又「アゲジツメ」よこすか
	のスタッフや若者達に参加して経験してもらう為 にこのイベントを行う。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	秋の収穫物に加え、三浦半島の物産等を
	がらホンの製品にし、空くじなしでゲット
	できる大人気のイベント 菓子の詰め合わせ
	セットも予定
実施時期	令和7年10月下旬
実施場所	上町商會会大通り・事務所前
事業のセールスポイント	お引き1枚でがらホンが1回でき 末等のお米1合でも非常に喜ばれます

[illegible]

事業 No.	2			
広報手段	47の新聞折込、手配り、ポスター内放送			
広報範囲	上野、西武池袋線、東武有楽町線、池袋駅周辺	広報対象人数	10,000人	
前年度からの改善 (定例事業の場合)	各等の品物の人気で品切れになる品物をなるべくない。			
【目標】 商店街で掲げる目標	各店の来店者 20%増加			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	5,000人	通常時	1,000人	
今後の展開	景品の種類を増やしてもっとお客様に 買い物をして景品をゲットしたい気持ちを 増したい。			
事業費と内訳	費目	金額	備考	
	印刷費	73,000	ポスター・チラシ抽選券印刷	
	報賞費	350,000	景品抽選所 PCモニター料	
	委託費	40,000	折込代	
	消耗品費	1,000	袋、テープ	
	合計	464,000		

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	「いーびんわきり花袋祭」 梅まつり
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	梅の花の咲く、まだ寒い時に商店街を訪れ利用される お客様に楽しく朗らかに買い物をしていただき お客様と商店とのふれあいを深め楽しい会で賑わう 街を造りある為に組合の女性部が中心 となり実施
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	お買物で応募券をもらい5～6ヶ月前に 投票箱に入れてもらい「お買物券」 が当たるイベントです。当選者には ハガキにてお知らせして、「いかも」お買物券 を交換、金額と人数は未定
実施時期	令和 8年2月中旬
実施場所	上野商店会大通り、アーケード
事業のセールスポイント	昨年はお買物券 半5,000円 魅力

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	店頭ポスター・配りチラシ・アゲート放送		
広報範囲	上町3丁目、田代町、 不入斗町、多入町、佐野町	広報対象人数	5,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	当てるお買物券の金額と人数を考え中		
【目標】 商店街で掲げる目標	各店 来店者 10% 増加		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	4,000 人	通常時	1,000 人
今後の展開	梅まつの予算を果品（お買物券）だけに したところ お客様、組合員からむしろ新 ちった急、お買物券だけで行ってほしい		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	印刷費	40,000	ポスター・チラシ・応募券印刷
	報償費	250,000	果品用買物券
	合計	290,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	三笠ビル商店街協同組合		会員数	38
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(4,050,000円)	1/3→ (1,350,000円)
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	---

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	七夕装飾
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	毎年日本の風物詩として商店街を吹き流し等で飾っている。
	今年も季節感を演出する目的で飾り付けを行いが、今年は外に向け
	てではなくアーケード内を装飾し、お買物に見えているお客様の目を
	楽しませることを主眼に行っていきたいと考えている。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	昨年までは商店街の両入口と中央に吹き流しを飾っていたが、今年
	はアーケードの天井に飾り付けを考えている。
	七夕装飾については年間予算の関係もありあまり予算をかけず
	よりお買い物客に目立つようアーケード天井を中心におこなっていく
	予定である。
実施時期	2025 年 7 月中
実施場所	商店街アーケード全体
事業のセールスポイント	日本の風物詩なので絶やさないを目的に行う

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	HP等で飾り付けが始まったことを広報する		
広報範囲	HP閲覧者	広報対象人数	人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	外を飾ることから中を充実させる方向に改善しかける予算削減し		
	より来ていただくお客様に季節感を味わってもらうようにする。		
【目標】 商店街で掲げる目標			
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	人	通常時	人
今後の展開	お客様の反応見て今後を検討する		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	装飾全般	200,000	
	合計	200,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	ハロウィン in ミカサ
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>横須賀市各地域の商店街としても開催する恒例イベントで、楽しみにしている市民も多い。</p> <p>特に横須賀中央地域は米海軍基地があり開催は必須。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>毎年ヨコスカダウントウクラブで行うハロウィーンイベントと時期をずらして開催してきているが、わざわざ別日に開催する意味がないのではないかと考え今年は同時開催を出来たらと考えている。</p> <p>当商店街ではお菓子配りをコスプレイヤーさんにやってもらい非常に好評なので三笠会場では例年通りコスプレイヤーさんからのお菓子配りで独自色を出せると考える。</p>
実施時期	2025 年 10 月末の 1 日開催
実施場所	横須賀中央全体での企画に参加
事業のセールスポイント	楽しみにしていただいているイベントなのでよりにぎやかに演出したい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	ヨコスカダウンタウンクラブのポスター等掲示		
広報範囲	横須賀中央来街者	広報対象人数	30,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	三笠ビル商店街単体ではなく横須賀中央地域全体でのイベント参加 前年までは2日開催したが今年は1日開催		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街としての独自色を出しつつ全体の盛り上がりにも貢献する		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,000 人	通常時	800 人
今後の展開	全体イベントの参加について効果が検証できれば来年以降も 同時開催を行いたい		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	配布用菓子	200,000	
	コスプレイヤー	100,000	
	ハロウィン装飾	200,000	
	合計	500,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
3	歳末ガラポン抽選会
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>開催についての問い合わせが一番多いイベントで年末の盛り上がり に欠かせない</p> <p>年末年始の生鮮3品のお買物を当商店街でしていただくことで商店街 がにぎわうので年間予算をこれに集中して行っている</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>商店街の各店舗で1,000円のお買物をしていただければ1回ガラポン に挑戦できるという基本は変えずに従来の景品の構成を見直す、具体 的には金券の最高額を下げより多くのお客様にある程度まとまった 金額の金券が当たるようにする。また従来エコバックのみだった商店街 のオリジナルグッズの種類を増やして抽選会を魅力あるものにする。</p> <p>また昨年試験的に行った文字が流れるイルミネーションでの告知 を今年はより本格的におこなっていきたい</p>
実施時期	12月中旬の土日2日間開催
実施場所	商店街アーケード内
事業のセールスポイ ント	高額金券とオリジナルグッズが当たる

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	3		
広報手段	ポスター、HP、独自のイルミネーション		
広報範囲	来街者及びHP閲覧者	広報対象人数	20,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	高額金券の額を減らし多くの方にある程度満足感のある金額の金券 を当てるようにする。また景品のオリジナルグッズの数を増やす。		
【目標】 商店街で掲げる目標	出来るだけ多くのお客様にイベント後お買物をしていただけるよう工夫する		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,500人	通常時	800人
今後の展開	従来土日開催を見直してほしいという声もあるので開催日の検討も 行っていきたい		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	金券	800,000	
	イルミネーション	350,000	商店街独自
	イルミネーション	1,550,000	横須賀中央全体
	景品	200,000	
	広報	50,000	
	合計	2,950,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
4	春の三笠まつり
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	昨年までは年間販促企画としてはハロウィーンと歳末ガラポン中心に行ってきたが、年の後半中心になっていて春に何も集客のイベントがなかったなので年間の予算配分を改善して春先の時期にイベントを実施する
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	アーケード天井に一足早い桜の装飾をして季節感を演出、年末ほどの規模ではないがガラポン抽選会を行う。景品の内容は金券中心ではなく商店街のオリジナルグッズが多く当たる方向で行いたい。
実施時期	2026 年 3 月の週末の 1 日
実施場所	三笠ビル商店街アーケード内
事業のセールスポイント	年の前半のイベント空白を埋めていく

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	4		
広報手段	ポスター、HP 等		
広報範囲	来街顧客、HP 閲覧者	広報対象人数	10,000 人
前年度からの改善 (定例事業の場合)			
【目標】 商店街で掲げる目標	春のお買い物客増をはかりたい		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,000 人	通常時	700 人
今後の展開	7 年ほど前には行っていた春のイベントを復活させてどういう反応か を見極めて今後を検討する		
事業 費 と 内 訳	費目	金額	備考
	装飾	50,000	
	ガラポン景品	300,000	
	広報	50000	
	合計	400,000	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

令和 7 年度 商店街にぎわいづくり事業補助金 希望調書

(にぎわいづくりイベント事業)

○申請者

団体名	千日通商店街振興組合		会員数	91
住所	[REDACTED]		組織 形態	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 任意
代表者	[REDACTED]			
記入者	[REDACTED]	TEL	[REDACTED]	
		E-mail	[REDACTED]	

○補助金申請額

各事業費の合計	申請額
(2,300,000 円) 1/3→ (766,000 円)	
※ 対象事業費の下限額 30 万円	※ 補助限度額 200 万円
(千円未満切捨て)	

【市：事務処理欄 予算との差額 円】

○事業内容

※別紙に記入

○商工相談員の派遣

※審査会において、商工相談員が専門的な知見から、事業実施にあたっての助言等を行います。その後も継続的なコンサルティングを希望される場合は、定期的な商工相談員の派遣が可能です(初回費用無料)。継続したコンサルティングの希望の有無を下記にご記入ください。

<input type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 商工相談員の派遣を希望しない
--	--

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
1	街路灯イルミネーション
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	季節に合わせた装飾をすることで商店街の活性化を推進する。
	来街者や市民にひと時の憩いと安らぎと安全を提供する。
	10年以上前からの恒例行事です。
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	イルミネーションの設置。
	イルミネーションに個店のプレートを付し、個店をPR。
	街路灯66本のうち約50本(防犯カメラの関係等で非設置)に
	電飾を施し、来街者へ明るさを提供し、安心安全なまちづくりに
	寄与する。
実施時期	令和7年11月～令和8年2月
実施場所	若松町と大滝町の商店街街路灯
事業のセールスポイント	イルミネーションに個店プレートを取付け、売上増を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	1		
広報手段	イルミネーション自体が広報。		
広報範囲	商店街内	広報対象人数	来街者全員
前年度からの改善 (定例事業の場合)	LEDの交換、補充		
	プレート交換		
【目標】 商店街で掲げる目標	安心安全な商店街とする。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	1,200人	通常時	1,000人
今後の展開	来期も同様に行いたい。		
	昨年度から数年間、再開発エリア周辺の電飾が不透明になっています。		
	再開発関係者からは店舗の照明とかがなく暗いので、より明るくして		
	欲しいとの要望があり、協議し、行う予定です。		
事業費と内訳	費目	金額	備考
	装飾費	1,300,000 円	イルミネーション代
	合計	1,300,000 円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	事業名
2	横浜DeNAベイスターズ応援キャンペーン
実施目的 ・なぜ行うのか、 必要性 ・実施の経緯	<p>地元関連球団である横浜DeNAベイスターズを</p> <p>商店街をあげて応援する。</p> <p>5年以上前からの恒例行事です。</p>
実施内容 (何を行うか、 ・内容 ・規模 ・対象人数などを 具体的に記入)	<p>街路灯に横浜DeNAベイスターズのフラッグを掲出し、応援する。</p> <p>商店街加盟の店舗で回遊しお買物していただいたお客様に</p> <p>横浜スタジアムのチケットプレゼント。</p> <p>物販、飲食店以外の店舗もプレゼントの対象とする。</p> <p>横浜DeNAベイスターズに関連したグッズもプレゼント。</p> <p>店頭にはポスター等を掲出してもらい来街者全員にPRする。</p>
実施時期	令和7年4月～令和7年10月
実施場所	若松町と大滝町の商店街街路灯、加盟店舗
事業のセールスポイント	店舗の回遊による個店の売上増を図る。

※以下、複数の事業を実施する場合、事業の数だけ作成してください。

事業 NO.	2		
広報手段	チラシ、ポスター、フラッグ		
広報範囲	横須賀市内	広報対象人数	8,000人
前年度からの改善 (定例事業の場合)	当選者へのアンケート調査の拡充。		
	参加店をカテゴリー分けし、レシートの偏りを解消。		
	チケット値上げの為、応募金額のUP		
【目標】 商店街で掲げる目標	商店街をあげて横浜DeNAベイスターズを応援。		
【目標】 実施時の来街人数 またはイベント参加人数	8,000人	通常時	0人
今後の展開	来期も同様に行いたい。		
	CSや日本シリーズ、オールスター戦の購入権プレゼント		
	優勝セールを事前に準備し、盛大に行いたい。		
事業費 と 内 訳	費目	金額	備考
	報償費	950,000 円	チケット代金
	印刷費	50,000 円	チラシ印刷代
	合計	1,000,000 円	

※すべて必須項目 ※「前年度からの改善」は新規事業の場合は記入不要

※用紙が足りない場合は別紙で添付して下さい